



ふくおか [Good] 農業人100

主な農産物 / 米、麦、大豆、露地野菜 (キャベツ、ブロッコリー)

筒井 一寿さん (23歳) (営農地 / 鞍手郡鞍手町)

ブロッコリー、大型農業機械、地元大規模農家に魅せられ就農

《就農のきっかけ》

ブロッコリーとの出会い

小さな頃から、とにかく機械を扱うのが大好きだった筒井さん。実家で作っていた米・麦・大豆に使用するトラクターやコンバインなどの大型機械に惹かれて、中学生の頃には自然と、農作業を手伝っていました。ただ、専業でやっていきたいとの思いはなく、高校卒業後はサラリーマンになろうと決めていたとのこと。転機の訪れは高校最終年の時、近所の農家の勧めからブロッコリーを作ったことでした。最初は小遣い稼ぎのつもりだったのですが、蓋を開いたら、想像以上の収入を得ることができました。

やれば儲かると実感した春、卒業と同時に就農を決意したたそです。

《これまでの過程》

地元大規模農家の支えにより ステップアップ

父親は勤めに出ており、農作業は祖母から教わりました。米・麦・大豆に関しては、概ね、技術・知識は身につけていたのですが、ブロッコリーについては、一度は作ったものの、まだまだ分からないことだらけでした。

案の定、ブロッコリーの作付けを1.5haと大幅に広げた就農1年目に、たくさんの収穫ロスを出してしまいました。そこで、町内のブロッコリー部会の部会長を訪ねて、栽培管理、作型など基礎的なことを教わりながら、技術の蓄積に努めました。現在、ブロッコリーの作付面積は5haまで拡大し、地域で一番早い作型にも挑戦しています。さらに、昨年にはキャベツの作付けも開始しました。とかく、露地野菜は価格の変動が大きく苦勞の連続ですが、収益が良かった年の喜びは格別とのこと。今後、より安定的に収益が得られるよう計画生産に努めます。

現在、就農5年目となり、農協青年部や地元ヘリ防除組合の活動の中で多くの先輩と出会い、たくさんの刺激を受けています。



プロフィール

- 家族構成 / 父、本人、妻、祖母
- 営農年数 / 約4年
- 従業員数 / 1名
- 耕作(経営)面積 / 約10ha
- 販路 / JA共販、直売、市場

《これからの展望》

規模、販路、機械の拡大

現在は米6ha、麦6ha、大豆0.6ha、ブロッコリー5haの作付けを行っています。鞍手町は県内でも有数の大規模個別農家がひしめく地域で、早急な規模拡大は見込めないとのこと。しかし、地域も高齢化が進んでおり、将来、農地の受け手(担い手)として期待されています。その期待に応えられるようなしっかりとした経営を目指されています。

販売面では、概ねすべての農産物を農協に出荷しており、所得の安定向上を図るため、米の小売り拡大を目指し、現在、外食産業などを中心に販売促進をかけています。

より大きな機械に乗りたいという夢もまた、今の自分を奮い立たせる原動力となっています。昨年、認定農業者になったこともあり、補助事業等を積極的に活用していきたい意向です。



Good 成功の ためのポイント

農業は他産業と比べ、天候など外部環境の影響を受けやすく、リスクが大きい産業といえます。このリスクを打破できるのはやはり経験です。地域の先輩方の知恵を吸収しつつ、自ら経験を積むことで、少しずつステップアップすることが成功の秘訣だと思います。